



学校だより

校訓「健康」「自立」「友愛」

北九州市立白銀中学校

校長 梅木 陽一

令和5年1月 学力特集号

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、算数)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	全体的に全国平均を下回っているが、特に記述式の問題において、読み取った内容や自身の考えを表現する力が不足している。
数学	全体的に全国平均を下回っていて、特に、様々な事象を論理的に捉え、数学的な表現を用いて説明する力が不足している生徒が多い。
理科	物理分野「粒子領域」の正答率が低い。思考・判断・表現の正答率は全国平均の正答率を上回っているが、知識・技能の正答率は全国平均を下回っている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none">・「朝食を必ず取る」、「朝決まった時間に起きる」と答えた生徒が全国を下回った。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、約束したことを守れていない」生徒が多い。・「自分には良いところがある」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と答えた生徒が全国平均を大きく上回った。半面、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦してる」、「最後までやり遂げるようにしている」と回答した生徒が全国平均を下回った。・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「友達と協力するのは楽しい」と回答した生徒が全国平均を下回った。・キャリア教育を軸とした、将来の夢や目標をもたせ、それらを行動に結びつけさせることが必要である。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・授業においては教え合いや学び合いを継続し、自分の考えを深めたり、広げたりできるように工夫している。さらに対人スキルアップ指導を積極的に行っていく。
- ・ICT機器を活用し、ドリルアプリを朝自習や授業などに利用することで、個に応じた課題解決の取組を継続していく。
- ・諸行事においては、生徒が企画や運営に携わり、主体的に取り組む態度の育成を継続していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・学校独自の「自学ノート」を全校で実施し、生徒が継続的に家庭学習が取り組めるように工夫している。今後も継続して行い、効果的な家庭学習の取り組みを実施する。
- ・基本的な生活習慣について、家庭へ啓発を行う。外部講師を招聘し、規範教育なども継続実施していく。